

# 宮城県がん診療連携推進病院 承認報告と当院のがん診療体制について

1. 宮城県がん診療連携推進病院とは
2. 当院のがん診療体制・診療実績の現状
3. 今後の課題と改善に向けた取組
4. まとめ



令和8年2月4日  
仙台市立病院

# 1. 宮城県がん診療連会推進病院とは

- ・ 仙台医療圏では、**がん診療は拠点病院以外の医療機関でも行われている**
- ・ 宮城県内には中規模病院が多く、**拠点病院と同等の診療実績要件を満たすことが難しい医療機関もある** このため、拠点病院と地域の医療機関が役割分担し、連携する体制が必要とされている
- ・ こうした背景を踏まえ、**宮城県が独自に「がん診療連携推進病院」を設置** 当院は令和7年8月に承認を受けた<sup>2</sup>

## (参考) がん診療連携拠点病院以外の診療割合

### がん医療 (第4期計画策定時での課題)

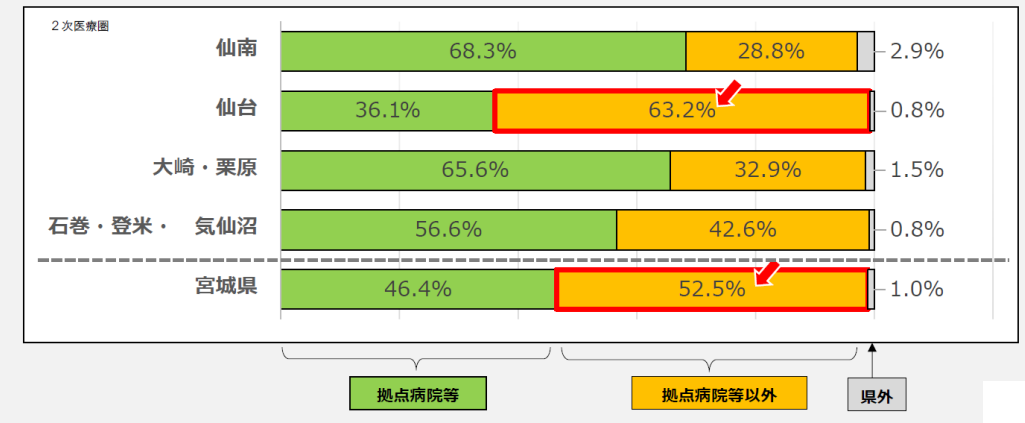
#### 課題

- ・ 県内の地域差の問題
- ・ 拠点病院以外の医療機関での診療割合が高い (特に仙台圏域)

▶ 拠点病院とがん診療を行う一般の病院との連携強化

### 患者住所地別・受診医療機関の内訳 (平成28 (2016) -令和元 (2019) 年) (県・圏域)

出典：宮城県立がんセンター宮城県がん登録室「宮城県がん登録情報の集計結果」



引用：令和7年度第1回宮城県がん対策推進協議会

# 当院のがん診療体制整備の経過

## 現在当院では以下の診療体制を構築している

- **手術室**：6室 → 8室へ増室（新病院移転時）※救急外来手術室は現在工事中
- **放射線治療**：放射線治療装置完備
- **外来化学療法**：令和4年5月 外来化学療法室 8床 → 16床へ増床
- **手術支援ロボット**：令和6年10月導入（令和7年12月まで 218件）
- **緩和ケア**：緩和ケアチーム体制の整備を推進

これらの整備により、手術・薬物療法・放射線治療を組み合わせた**集学的治療が提供可能**となり、**診療体制の面では、がん診療連携拠点病院に遜色のない水準を構築**してきた

## 2. 当院のがん診療体制・診療実績の現状

### 当院の診療体制

- **診断・治療方針決定**

CT/MRI等により、診断から治療方針決定までを円滑に実施

- **がん治療(手術・薬物療法・放射線治療)**

集学的治療が可能な体制を整備、手術支援ロボットの導入により、低侵襲手術を含めた高度な外科治療にも対応

- **緩和ケアチーム(多職種支援)**

リエゾン精神科・麻酔科を含む体制で包括的に支援

- **支持療法・意思決定支援**

ACP(人生会議)を含めた支援を実施

# 診療実績

【診療実績(項目)】	拠点病院診療実績要件	当院の診療実績
院内がん登録件数	年間 500件以上	→ 962件
手術件数	年間 400件以上	→ 794件
薬物療法(外来化学療法等)	年間 1,000人以上	→ 525人
放射線治療	年間 200人以上	→ 239人
緩和ケアチーム介入件数	年間 50人以上	→ 25人

当院は集学的治療に対応できる体制を整備しており、**主要な診療実績**においては**拠点病院水準に近い実績を有している**

# 3. 今後の課題と改善に向けた取組

宮城県がん診療連携推進病院としての機能をより**実効性のあるものとするため**、以下の点を課題として認識し、改善に取り組んでいる

## 主な課題

### 1、緩和ケアチームの患者介入数の増加

診療早期からの介入促進と体制の定着が課題

### 2、がんサロン等、患者支援活動の整備

患者・家族への情報提供・交流の場の充実が必要

### 3、がんセンターボードの実績確保

診療科横断・多職種によるがんセンターボードの定例的な運用体制が未整備

# 課題に向けた取組(改善計画)

当院では、推進病院としての機能強化を目的に、**課題に対応するため、院内に検討部会を設置し、以下の取組を進めている**

## 1、緩和ケアチーム

早期介入を促進するため、院内連携体制の整備を進めている

## 2、地域連携・相談支援

患者会・がんサロン設置を含め、相談支援体制の充実を検討している  
今後、拠点病院見学予定

## 3、がんサーボード

令和8年1月22日に第1回を実施、今後は定例開催を予定

## 4. まとめ

当院は、**宮城県がん診療連携推進病院**として承認を受け、**診療体制・設備・実績を基盤に、地域のがん診療提供体制の充実に貢献**していく

今後は、整理した課題について改善を進めるとともに、**地域医療機関の皆さまからのご意見を踏まえ、より紹介しやすい連携体制の構築を一層推進**していく

# 委員の皆さまに伺いたいこと

## 1、紹介先として選びやすくするための改善点

がん患者を紹介する際、当院を選択する上で判断材料として不足している点や改善すべき点等

## 2、当院のがん診療機能に関する情報提供について

手術・薬物療法・放射線治療・緩和ケア等について、十分に伝わっていないと感じる点や、追加で知りたい情報等

## 3、それぞれの立場から見た当院の役割と連携の在り方について

当院の医療・人的資源を地域でより有効に活用するために、当院に期待される役割や連携の在り方等